

製品名: Cleaved-ITI-H4 70k (R661) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09001**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ITIH4 ITIH4; IHRP; ITIHL1; PK120; Inter-alpha-trypsin inhibitor heavy chain H4; ITI heavy chain H4;
別名	ITI-HC4; Inter-alpha-inhibitor heavy chain 4; Inter-alpha-trypsin inhibitor family heavy chain-related protein; IHRP; Plasma kallikrein sensitive
遺伝子 ID	3700.0
SwissProt ID	Q14624
免疫原	抗血清はヒト ITIH4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 612-661

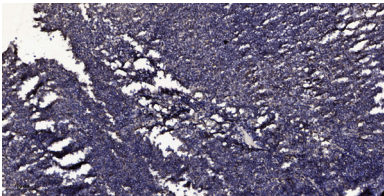
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は血中に分泌され、血漿カリクレインによって2つの小さな形態に切断されます。この遺伝子の発現は肝臓でのみ検出されており、外科的外傷時に亢進すると考えられます。この遺伝子は、3番染色体上の類似遺伝子クラスターの一部です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq提供、2009年10月]機能: 急性期反応に関与している可能性があります。誘導: 様々な外科的外傷を受けた患者の血清中で、そのレベルは著しく増加します。PTM: N型およびO型グリコシル化の両方を受けています。PTM: 血漿カリクレインによって切断され、100 kDa および 35 kDa の断片が生成され、得られた 100 kDa 断片はさらに 70 kDa の断片に変換されます。PTM: Ser-696、Thr-701、および Ser-702 の O 結合型多糖は、おそらく GalNAc に結合したムチン型です。類似性: ITIH ファミリーに属します。類似性: 1つの VWFA ドメインを含みます。組織特異性: 肝臓特異的です。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。